

第一章 天平時代の大仏造立

はじめに 1

第一節 元正天皇 2

一 政治理念 2

二 律令国家の矛盾 5

三 仏教の統制 8

四 行基 14

第二節 聖武天皇 18

一 治世初期 18

二 藤原四卿体制と聖武天皇 23

三 戒師招請 33

四 新羅問題と天地の災害 38

五 兵制の解体と広嗣の乱 45

六 国分寺建立の詔 49

七 大仏発願の詔 52

八 神とほとけ 62

第三節 孝謙天皇 65

一 八幡大神 65

二 大仏開眼供養会 69

第二章 鎌倉時代の東大寺再興

はじめに 86

第一節 後白河法皇 87

一 東大寺再建の詔 87

二 『信貴山縁起』 93

三 大仏開眼供養 105

第二節 重源 109

一 重源の宗教的原体験 110

二 東大寺大仏の世界性と日本の神々 117

三 東大寺再建と民衆の救済 121

第三節 西行 127

一 東大寺勸進の旅、その前後 127

二 「御裳濯河歌合」 137

三 「宮河歌合」 146

第四節 源頼朝 151

一 東大寺再建と頼朝 151

二 建久六年大仏殿落慶供養 159

三 藤原仲麻呂 75

第五節	慶派の仏師	169
一	東大寺再興と古典への復帰	169
二	東大寺南大門仁王像	172
三	東大寺四天王像	175
四	人間・神・ほとけ	178
第六節	栄西	183
一	重源と栄西	183
二	『興禅護国論』の思想	187
三	栄西における東大寺復興の意味	195
第三章 秀吉による大仏造立		
はじめに		
		202
第一節	大仏構想の前史	203
第二節	惣無事令と大仏	209
一	九州戦役	209
二	刀狩りと大仏	214
第三節	高山右近	216
一	キリシタン禁令の経過と問題点	216
二	右近の信仰の思想的性格	220

v 目次

三	キリシタン禁令	225
第四節	古溪宗陳	228
第五節	利休	233
一	惣無事令政策と「北野大茶湯」	233
二	大仏と利休	237
三	利休の世界	242
第六節	朝鮮侵略と大仏	247